通販チャンネル

さあ始まりました Guards ネット！
本日、ご紹介する商品はこちら！

最近アニメ「うぽって！」やゲームでおなじみ、アメリカ海兵隊御用達 M16！

銃だから扱い方が難しいとお思いのそこのあなた！実は使い方はとっても簡単！
なんと 3 ステップでご使用になれます。
第 1 ステップ：まず、グリップ部分(なんとなくわかります)を握ります。

第 2 ステップ：銃床(銃のおしり、これもなんとなくわかります)を肩に当てます。

第 3 ステップ：あとは安全装置が解除されているか確認して、標的に向かって引き金を引くだけ！

ほらカンタンでしょ？

※詳しくは取扱説明書をご覧ください。

M16 の構え方（協力：アメリカ海兵隊）

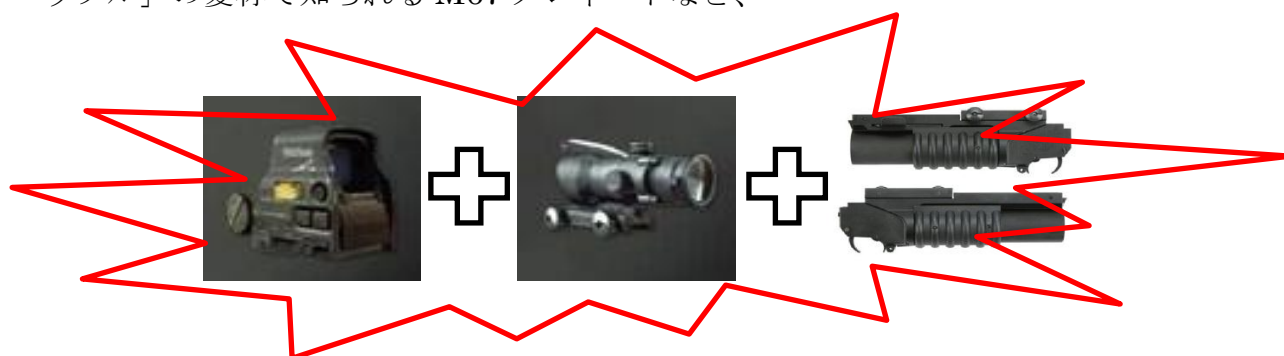
ピープホールの使い方（一例）

クリーニングはマガジン、グリップを外し、チャージングハンドルを抜くとアッパーレシーバーが取れます。あとはバレル抜いてパーツを失くさないようにお手入れするだけ！とっても簡単！

そして！夏のアメリカフェアということで、今回はドドーンとサービスサービスぅ！

通常は銃本体に 5.56mm×45NATO 弾の 30 連マガジン 6 個、20 連マガジン 3 個、タクティカルライト、クリーニングセット

がついての販売ですが・・・それだけじゃない！

なんと！今回は通常のセットに加え、ホログラフィックサイトや ACOG などのカスタマイズキットが入ったカスタムセット、アンダーバレルグレネードランチャーの M203 と「アップル」の愛称で知られる M67 グレネードなど、

爆発物いっぱいのエクスプロージョンセットをおつけします！

どうです？欲しくなってきたでしょう？
さらにさらに、当社特製銃床につけるお洒落なストラップも

サービスして・・・

お値段なんと！159800円！**159800円！**もう大特価です！！

お支払いは一括払いと分割払いがございます。分割払いの場合、17回払いで月々9400円になります。
分割払いの際の手数料はGuardsネットが負担いたします。

お電話、パソコン、携帯からもお申し込みができます。
ただし、PHSからのお申し込みはできませんので、ご了承ください。

放送終了後30分以内にお申し込みの方には、軍隊からの払い下げ品の水筒をサービスいたします。

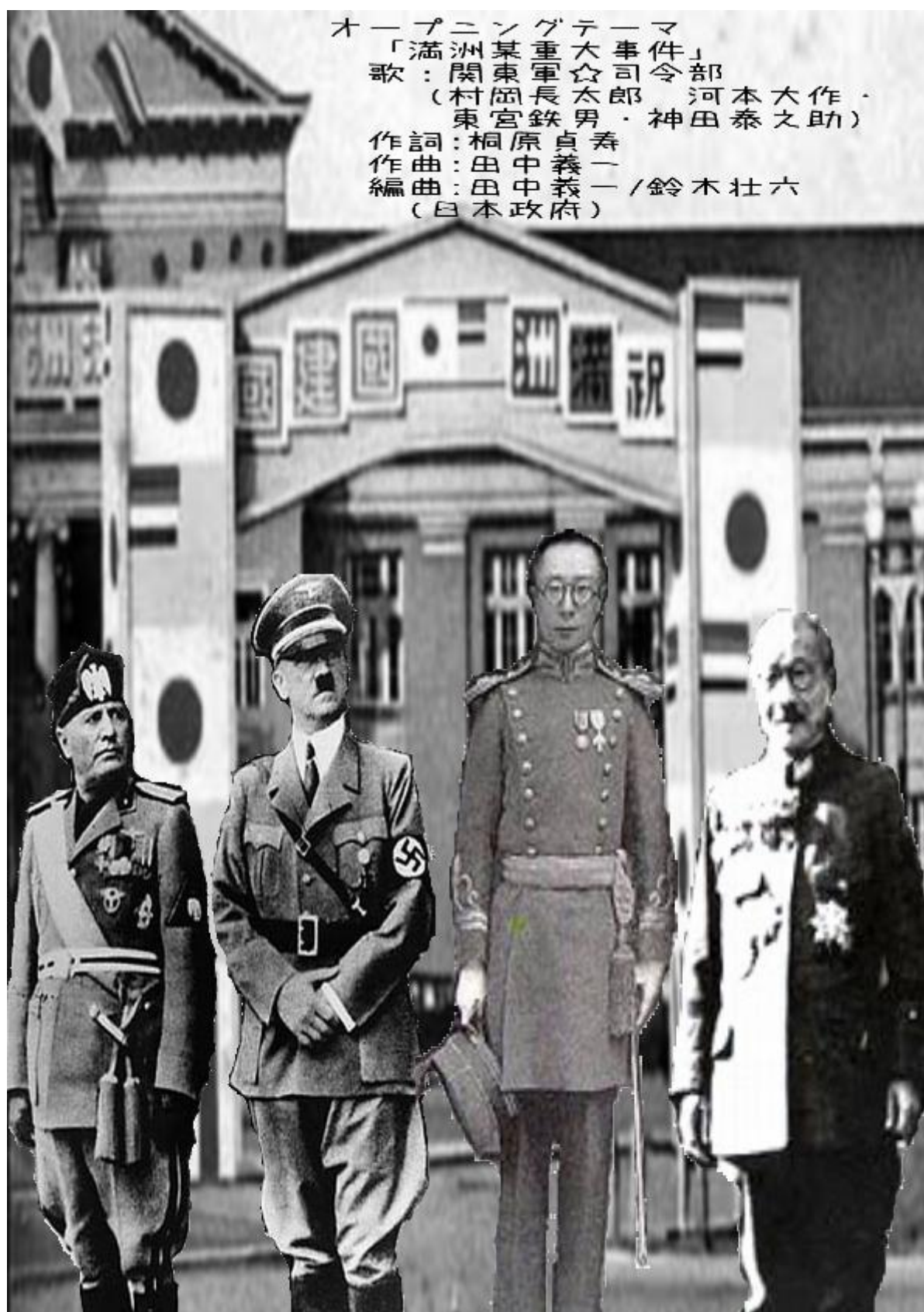
電話番号はこちら　0120－××××－□□□□　（機密保持のため削除　陸軍　検閲）
パソコンのアドレスはこちら　http://www.guardsnet.△△△△/　（機密保持のため削除　陸軍　検閲）

お掛け間違えの無いようご注意ください。

さあ、今すぐ師団本部へお電話を！
たくさんのお電話、お申込みお待ちしております！

では、今回はこの辺で。またお会いしましょう！さよなら！

資料提供　Wikipedia
製作・撮影・美術・音響・構成　　武富　将平

満洲のマンシュウによる満洲のための擁護談

さてさて…。
改めまして名乗らせていただきます。
今年度入会させていただきました、一年の住岡大輔(マンシュウ)と申します。
あれです。ただの満洲国ｽｷｰの共産趣味者です。(※主義者ではないのでご注意)
満洲やら共産やら言ってますが元々は明智光秀ｽｷｰなのです。本当は。
まぁ、そんなことをうだうだ言っていても仕方がありませんのでさっさと本題に入ることにいたしましょう。

とりあえず何を書けば憲兵の検閲で一切墨引かれずに掲載されるのかわかりませんので当たり障りのない満洲のお話でもしますね!!!!!

まず、当然のこととして理解していただきたいのが、
「満州国(後に満洲帝国)は独立国であり大日本帝国の傀儡国家ではない」
ということです。
それすらも理解せずにごちゃごちゃ言うことだけはおやめ下さい。馬賊認定します。

満洲国成立の発端ともなった『満洲事変』ですが、それにつきましては現役会員および OB 会員のみなさまであればお分かりになられるとは思います。
―――関東軍による自衛行動である、と。

柳条湖事件に関して言えば謀略の一面は確かにあるでしょう。ただ満洲における日本権益下での馬賊・共匪・奉天軍閥(錦州政権・張学良)による侵害への堪忍袋の緒が切れた結果でもあるわけです。ですから、謀略の面はあれど侵害さえなければこのようなことは起きなかったとも言えるでしょう。

事変は進み、満洲全土を関東軍はほぼ手中に収めますが各地で現地有力者による地方政権が誕生しそれらを纏め『満洲国』が建国されることになります。
事変～建国に際し、関東軍が行ったことを簡潔に纏めると、
- 事変勃発のきっかけである柳条湖事件を起こした
- 満洲の錦州政権勢力の排除
- 各地方政権のバックアップ
- 各地方政権の連携の仲介
- 廃帝溥儀の護衛

上記のようなものが主だったものでしょう。
つまり、満洲国は関東軍によって建国されたわけではなく、役割としては地方政権間を結ぶ連絡役にすぎず、『現地有力者による自発的な連合政権建設』による誕生なのです。

そして、その満洲国執政に清朝廃帝である宣統帝(溥儀)が就任するわけです。

なぜ溥儀が執政に就くかと言えば、先祖からの土地である満洲の地に回帰することを意味するからです。もともと、満洲族(女真族)の土地で溥儀はそれの棟梁ですから。その満洲の地に国家が建設されればそのトップは自然に溥儀になるのは自明でしょう。

そこで、一つの誤解が生じます。
「満洲国は清朝の後継国家である」
というものです。
　これをよく言う人がいますね。ホント、何度違うって言われたら気が済むんでしょうね(憤怒)
国家のトップが溥儀になったのは先述した様に満洲族としての棟梁の地位にいたからであるというのが名目。
実際のところは、鄭孝胥などの帝政派と張景恵などの共和派のいがみあいで政体をどうするかとなった時に、苦し紛れの策で執政を置きましょうとなりその際、じゃあ誰がふさわしいか、溥儀だろ。みたいな流れで選ばれただけですからね。
鄭孝胥は執政に溥儀を置くことで将来の帝政の希望を見出せるし、張景恵は執政が居ても共和制は可能だしってことで同意します。
ですから、成立過程で後継国家ということは出てきてすらいないのですよ。
それなのに、「後継国家なんだ！」って言い張る人はどうかしています。
ちなみに執政になる溥儀さん。この方は、
「清朝の復辟」を目指していましたので、担ぎ出された当初は「後継国家」になるんだ！！って意欲満々でした。
つまり、「後継国家なんだ！！！」って言っている人は溥儀シンパか溥儀にすら踊らされる可哀そうな人です。

あと言っておきたいことはなんでしょうね…。あ、これかな…。
「満洲国なんて所詮日本の独りよがりで見向きもされてないじゃん」
ってことですかね。
一つ言わせてもらうと、あなたはどこを見ているの？の一言に尽きます。
WW2 勃発前後の、独立国が 60 ヶ国に満たない中、満洲国と正式に外交関係を結んだ国がドイツ、イタリアを始めとして計 21 ヶ国。
そして正式ではないまでも実質的に外交を行っていた国がソ連やバルトの国々など含め、世界の 3 分の 1 以上が満洲国を「国家」として扱っていました。
たとえそこにどんな政治的意図が込められていても、国家として扱われればそれは国家です。それを屁理屈によって「満洲国なんて国じゃない！」なんて言っても実際、それだけの数の国々が国家として認め、そう扱ってきているのです。
ですから、そんな戯言言っている人が早くいなくなることをわたしは願うばかりです。

これだけ言えば満洲国がキチンとした独立国であるというのがお分かり頂けたかと思います。
傀儡かどうかというのはまた意見が分かれる話ですね。

書きたいですね続き。
と思いましたがわたしが疲れました。もう画面とにらめっこしながらキーボートをｶﾀｶﾀしたくありません。Twitter の TL を警備するというお仕事がわたしには残っていまして(殴

というわけで今回は、満洲国の正統性について(?)語らせていただきました。
長く駄文を晒しまして非常に恥ずかしいかぎりではありますがわたしは楽しかったです、えぇとっても。

ここで満洲ジョークを。

『匪賊に囲まれて攻撃され DR が出た時の一言。

「ひー、ＺＯＣで撤退出来ないよぅ＞＜」

………………。
お後がよろしいようで…。

一年　住岡大輔がお送りいたしました。

　ではでは…。

協力・協賛　関東局警務部警務課　藏重秀之軍曹

ロッカー事変戦記

~「はぐれ兵隊」かく戦えり~

箱崎陽介

廃墟と化した若木タワーで戦う日本兵。学生生活課の反撃は熾烈を極めた。

Ｋ．Ｇ．Ｍ．Ｃ．ＮＦ文庫

著者近影：箱崎　陽介　（はこざき　ようすけ）

平成二十二年　國學院大學法学部入学。同年秋 K.G.M.C.入営。

二回の若木祭、多数の通常活動を経て軍曹に進級。サークルの下士官として「ロッカー事変」を迎える。電撃戦、浸透突破を得意とする。

写真：初年兵教育中の筆者。（写真向かって右側）

平成二十二年秋、私はＫＧＭＣに入営した。それから早二年が経ち、いつの間にか下士官としての立場が定着したころ、事変は起こった。

二十四年初夏、5月30日の昼であった。急な召集があり藏重兵長を向かわせた。それが全ての始まりとなった。

戻った兵長に話を聞こうと近寄ると、彼は緊張した面持ちで

「引っ越しであります」と答えた。「引っ越し？」「はい、ロッカーの引っ越しだそうです。」「引っ越すだけならよいではないか。いくらでも移動すればよい。」「それが…ロッカーを一律一つに減らすと言うことで…。」「なに、一つに。」

私は容易ではないことになったと思った。我がＫＧＭＣのロッカー権益は二つと長い間決まっていた。これは揺るがぬものだと信じられていたのだ。しかしこの時我々はこの体制がすぐにでも崩れ去る可能性があるものだと思い知らされたのであった。後にこの事件は「ロッカー事変」と呼ばれる事になる。

なにはともかく動き出すことにした。村松小隊長は多忙の為、自分が率先して動かねばならないと思った。まずは書類を吟味してみることからだ。以前の書式より注意書きが圧倒的に増えている。

・ロッカー外に荷物を出すことは禁止
・ロッカー内に貴重品・書類を入れることは禁止
・ロッカー内に入れるものが適正かどうかは学生生活課が決める
・規約に違反した場合ロッカーからの立ち退きをいつでも求められる。

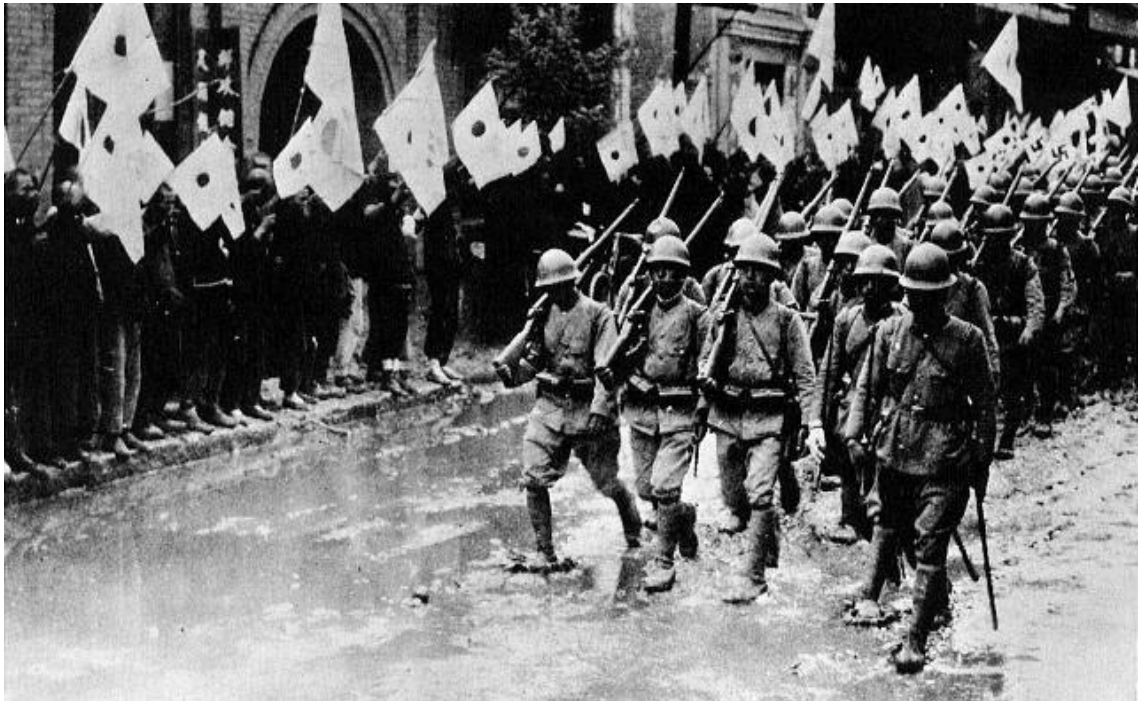
これは駅のコインロッカーの利用規約ではなく大学のサークルロッカーの利用規約である。幾らなんでも勝手すぎる。今回は学生生活課も本気で取りに来ている可能性が高いと想定され、この戦いは負けられないという気持ちを新たにした。その提出期日もわずか1週間、6月8日までであったことからも、それは窺えると言うものであった。

自治会に協力を求める。

事ここに至っては背に腹は代えられない。取れる手段は全て取る為に自治会にも働きかけることにした。事態を受けた次の日、31 日のことである。私は自治会の今年の会長中村氏と顔見知りであり、会った時に聞いてみると、卑劣にも学生生活課は文化部連のデモの日に同好会ロッカーの説明をぶつけてきており、自治会側は聞いていなかったそうだった。事情を話して協力を取り付け、とにかく書類を作成することにする。後日中村会長からは学生生活課に確認を取ったと連絡を受けた。

あらかじめ期日は伸ばしてもらい 6 月 18 日、我らが顧問、坂本一登法学部長と村松小隊長とにハンコをもらいロッカーの新式書類を携えて学生生活課に詳細を聞きに行くことにした。学生生活課の態度は相変わらず悪かったが話を詳しく聞き、こちらもロッカーについて交渉し、ロッカー二個目の申請書を書くことにする。

そして兵長を連れてようやく提出した所、非情にも「もっと詳しい資料で今日中に出して欲しい」の言葉を頂く。時刻は 19 : 30。学生生活課は 20 : 00 までである。「そこをなんとか」と頼み込み次の日一杯までという条件を引き出し、21 : 00 まで兵長の作っていた備品リストと顔を突き合わせてキャンパスで残業する。

次の日、6 月 19 日はあいにくの台風接近に伴う大雨で 16 : 00 には事務室を閉鎖すると言う、きわめて困難な状況だったがなんとか提出する。傲岸不遜な学生生活課の心胆を寒からしめるため新兵を集めて提出しに行く。「提出する人以外は外に出て下さい」という非情な言葉にもめげず提出する。備品リストを渡し、これだけの量がありロッカーは断じて渡せないと言う。我々の気迫を前についに学生生活課も「上と掛け合う」と表明。

悪天候下、陳情へ向かう兵士たち

6 月 25 日、学生生活課のロッカー視察があるということで、たまプラーザに備品を移動しゲームを渋谷に持って来て備える。視察当日、私は別の戦線へ一時的に移動しており、村松小隊長と兵長が学生生活課と相対することとなった。兵長は連日にわたる学生生活課との折衝にかかわる交渉、資料づくりのなかで体調を崩していたがそれを押しての出撃であった。

視察に備えウォーゲームを移送する KGMC 兵

学生生活課は二人連れで 10 分遅れてきた。とくに悪びれた風はなかったようであった。かくも傲岸不遜な学生生活課いわく〝話のわかる二人組〟は我々に対して無理解をもって我々に接してきたが、一歩も退かず、主張するべきところはきっちりと主張し、視察を終えた。

そしてついに運命の結果が出る日。7 月 4 日を迎えた。まさにこの日はサークル史に残る瞬間といっても過言でないであろう。この日、結果を受け取るべく学生生活課に出向くといつになく丁寧に（これは驚くべきことである。彼らは往々にして無愛想である）職員が迎えてくれた。さらに後から来た職員は「遅れてすみません」と謝罪までしたのである。そして来年の二月までという期限付きながら二つ目のロッカーを認めさせることに成功した。純粋にロッカー二つを死守したのはＫＧＭＣのみである。

昨日の引っ越しでもたまへの追加で物資移動を行った。これはテスト期間というサークル員すべてにふりかかる紛争のさなかのことであり、各人の敢闘精神の高さがうかがえる。

二度の物資移送任務・暴風雨の中の陳情に黙々と携わった新兵達には感謝する限りであった。又、ほぼ全ての作戦に参加した藏重兵長に賛辞を。

結果として我々はロッカー二つを手に入れた。しかし安心するわけにはいかない。二つが認められるのは来年の二月までなのである。この勝利に気を許すことなく我々は戦い続けねばならない。K.G.M.C.の為に、千年サークルの為に。SIEG　HEIL!

学校側の動向を監視する部隊

■編集後記

立秋が目前ですが、昼夜酷暑にさらされていることと思います。そんな寝苦しい夜のお供の前期納会号、いかがでしたでしょうか。

新進気鋭にして士気のたかい今年の一年生の記事がそろい踏みし、たいへん綺羅な映えとなった前期納会号ですが、なかでも印象深いのは、やはり巻末のロッカー事変戦記でありましょう。三年生から一年生までが主力となり一致協力、顧問ならびに会長が盤石となり両面背後をかためて臨みましたこの事件は、わがサークルの組織がいかに強靭であるか確認できるいい機会でありました。OB会長をはじめとしました、御心配をおかけしたOB会の方々にひとまずの朗報をお届けできたことを喜ばしく思います。

タバコ？ああ、巻きなら。前進と赤旗で巻いて・・・あれまたコートきた人がこっt……

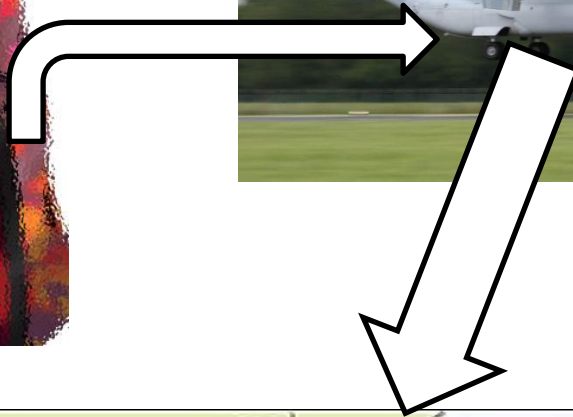
（会誌担当　クラウンシュゲ・ラントケーニヒ）

メンソーレ!!

おいでませ!!

オスプレイ!!

※大人気、米国版のオスプレイの自衛隊版発売を求め、警備の機動隊へ吶喊をかける岩国の市民団体の図。参加者は「（自衛隊版が出ないなら）日本のどの地域でも飛んでほしくない」とのこと。なお沖縄での発売は10月になるとみられるそうで、現地でも同様の混雑が予想される。

夏のご旅行は、安心・確実な日本航空輸送の飛行機で！！

國學院大學シミュレーションゲーム研究会　K．G．M．C．7月31日発行

Imperial Guards